北日本新聞　特別号外

2015 3/14 土曜日
平成27年
発行所　北日本新聞社　〒930−0094
富山市安住町2−14
☎076(445)3300（受付案内）
Ⓒ北日本新聞社2015

購読申し込みは
フリーダイヤル 0120(88)3746
ウェブ新聞 webun 購読者は無料
http://webun.jp

北陸新幹線が開業

富山駅

高らかに「発車」宣言

北陸新幹線の長野―富山・金沢（228キロ）が14日開業した。1965年の構想浮上から半世紀を経て、富山と東京を結ぶ高速鉄道の大動脈がつながった。富山、新高岡、黒部宇奈月温泉の県内JR3駅で開業式や出発式が行われ、県民が待ちに待った開業を祝った。

富山駅では、東京に向かう一番列車「かがやき500号」に合わせ、午前5時半から開業式が行われた。JR西日本、国土交通省、鉄道・運輸機構、県、富山市などから関係者55人が出席した。

JR西日本の山本章義副社長、石井知事、森富山市長らがあいさつ。到着と同時に関係者がくす玉を割り、テープカットした。沢谷英毅駅長が右手を挙げて出発を合図し、満席の「かがやき」は定刻より2分遅れの午前6時21分に滑り出すように発車した。

黒部宇奈月温泉駅では、東京行き一番列車の「はくたか552号」に合わせて出発式があり、堀内黒部市長らがあいさつした。定刻より2分遅れの6時49分に出発した。

新高岡駅では「はくたか552号」に乗客が笑顔で乗り込んだ。開業式では高橋高岡市長らが祝辞を述べた。出発式は6月末まで1往復停車する7時28分発の東京行き臨時「かがやき536号」の到着に合わせて行う。3駅とも祝福ムード一色に染まり、ホームを埋めた人たちの熱気と興奮に包まれた。14日は県内各地で開業を祝うイベントが繰り広げられる。

北陸新幹線開業に伴い、JR西から北陸線の県内区間の運営を引き継ぐ第三セクター「あいの風とやま鉄道」も運行を始めた。

JR富山駅を出発する北陸新幹線の「かがやき500号」＝14日午前6時22分、富山市上空（本社チャーターヘリから写真部部長デスク・垣地信治撮影）

新高岡駅

開業を祝う人々に見守られ、ホームに入る東京行き「はくたか」の一番列車552号＝午前6時25分、JR新高岡駅

黒部宇奈月温泉駅

「はくたか552号」の出発式でテープカットする関係者＝午前6時47分、JR黒部宇奈月温泉駅